

総務建設経済常任委員会会議記録

1. 期 日 令和3年5月26日(水) 開会 10時00分
閉会 10時24分
2. 場 所 第1委員会室
3. 付議事件 閉会中の継続調査(所管事務調査)について
「遊休荒廃農地の有効活用」
4. 出席者 大沼委員長、坂本副委員長、二宮委員、松崎委員、野地委員、杉崎委員、
渡辺委員
傍聴議員 0名
一般傍聴者 0名
議会事務局 1名 課長
5. 経 過

委員長 これより総務建設経済常任委員会を開会する。令和3年4月14日、4月26日、5月14日、5月24日勉強会をし、意見交換をした。その中で4月26日町所有の第二圃場という場所の視察をしながら、皆様と現在の二宮の畑、山の状態を確認した。皆様の意見をまとめていきたいと思うので意見をよろしく願います。

二宮 坂本副委員長の提案で園芸試験場の第二圃場の見学をし、とても有益であったと思う。見た後、担当課に確認したら、農地ではなく原野であるということが分かった。もったいないことに、あそこも委員会で何か取り上げて有効活用、もしくは未利用地の中にきちっと入れるべきだという最終的な提言をするのであれば、現状原野なので遊休荒廃農地という農地有効活用というのになるのではなく、何かテーマを変えた方がそういうこともできるのではないかと思う。

渡辺 細かいことだが、言葉として旧園芸試験場第二圃場とか、それは統一しておいた方がよいと思う。

委員長 現在担当の産業振興課長に確認をしている。そのあたりは本会議の報告の時には統一したいと思う。

渡辺 視察したのは、旧園芸試験場第二圃場だったが、当日町の担当者に話を聞いたが、農地に入る通路が昔、人が入れればよいとか、自転車で入れればよいとか、いわゆる三尺道というのがまだまだ多くて、軽4とかが入れない場所が一般的にはまだあると聞いているので、そうするとアクセスが一つの使うことに対するネックになっているとかそういうところも感じるので一般的にもう少し状況を一応他にもあると聞いているので、全般的に捉えていけたらと考える。

松崎 今までの遊休荒廃農地、農地に限らず、原野等も全部扱えるようにという話

で、もちろん賛成だが、一つの提案だがタイトルをみただけでパッとイメージがわくようにするためには、今までこの話が出た時に遊休荒廃農地の農を取って遊休荒廃地の次に括弧して原野とか、遊休荒廃地にもこんなものが入るとイメージがわくようにネーミングを工夫したらよいのではないかと提案する。

二宮 遊休とあるが今回見たのは町の所有だが、頭に私的資産と、公共資産と二つつけなくてよいのかと思うがいかがか。

委員長 そのあたりは公的財産か私的財産かの区別をという話だが、おそらく今回の勉強会で視察した中で、はっきりしたのは有害鳥獣被害の問題というのがかなり高まっているような中で、現実的に町で所有する旧園芸試験場第二圃場と言われるところの隣接しているところでは獣道のようなものがあって、おそらくそこに潜在していることが予想される状況があった。そういうところからいくと、私有地または公有地に限らず対策は効果的に考えていく必要があるところだと思う。猪の出現の部分だと、近隣の農家の方から、一部では、そのあたりから猪が出てきているのではないかという話があるようだが、そうすると区分をしていくというよりは効果的に調査研究していくべきではないかと私は思う。

野地 最終的にテーマの名前を変えるのは賛成である。二宮委員が言われた私的、公的という言葉は入れなくてもよいかを感じる。委員長が言われたように私の部分の途中に公があったり、入り乱れるところもあるので、それを含めてという意味合いであえて入れなくてもよいのかと思う。松崎委員の言われた提案に対しては、私もどういう言葉とか分からないが、引っかかっている。委員会の中では農地というイメージができていたが、一般町民が聞いた時に、先ほどの雑談で出たが、住宅地のところで荒れているところ、草刈ができていない私有地、これも荒廃地だというイメージを持たれると少し違うかなと思っているので、サブテーマなのか括弧書きか分からないが、私たちがやろうとしている部分は、こういう部分だと言葉では出るかもしれないが、テーマの中に入ると町民はもっと分かりやすくなると感じているので議論いただけると嬉しい。

渡辺 遊休荒廃地というと空き家に関する管理が行き届かない広場とかそういうふうなものを野地委員が言うようにイメージしてしまう。遊休荒廃地ということで検索してみたら、ほとんど引っかかってこない。ほとんど遊休荒廃農地として出てくる。遊休荒廃地で引っかかってきたところも中身を見ると遊休荒廃農地という部分で、もう一つのやり方として遊休荒廃農地などという逃げになるかと思うが、そういうやり方も少し考えていた。いずれにしても含みを持たせるというのは委員長提案の部分は賛成だが。

杉崎 野地委員が言われたので。地目で分けたらどうか。たとえば市街地を除くとか。調整区域のみとか。我々が取り組もうとしている所はほとんど調整区域だと思うので。どこが調整区域か分からないが提案である。

坂本 これが妥当かどうか分からないが、それなら二宮町中里峰山という限定した場所というところでその中の荒廃地、それですべて終わりではなく、それが第一弾であって、その後そういうところを時間が無いと思うが、一色の方へ行くとかそういうようなやり方を指定するというやり方はいかがか。

松崎 本当によく吾妻山に似ているなと思って聞いていて、すごく分かりやすい。それも一つの案としてはよいのではないか。テーマを一点にフォーカスして絞ってやるという。これも参考にしてもらえればよいが、有効活用という言葉があるが今までの原理はどういうものなのか確認したい。原野を有効活用についてももう少し具体的に。農地にするということを前提に話していたのか。それともバーベキュー場も含めてやるのか確認したい。

坂本 旧園芸試験場第二圃場だけではなく、これは二宮の産業で今オリーブが徐々に拡大しており、浜田さん、松木さんが二人でやっている。オリーブオイルを生産して販売して自分たちの生活に採算合わせるのに2千本必要である。最終的に2千本以上売れていないとペイできない。今、全くできていない。そういうことで浜田さんも東大の一番上のところも借りて、もう少しすると実がなるのだらうけど。どんどん増やしていくというのが背景にある。具体的にこれからどういうふうにするのか分からないけれど、旧園芸試験場第二圃場なども貸してもらえればオリーブ畑にしたいと言っている。浜田さんも旧園芸試験場第二圃場と知らずに、どこの地主かと調べたら町だったという話もしている。その為にやるとなるとおかしな話になるので、結果、町に委ねるが、遊ばしてぼろぼろにしておくなら、誰かがそこにいけば町はお金もかからないし、地代が取れ、きれいになるという考え方で、あそこなんかがそういうことに最終的になれば、かなりオリーブの一山そういうところに集中してできる。仕事も浜田さんなんかも、自分の少し離れたところに丸く新しく、借りたのかどうか知らないが、そういう場所がある。徐々に増やしていくのが事実である。そういう意味で、これは町の考え方だから、私らが有効活用しろと言っても他のことにいくのかもしれない。それは分からないが。そういう背景があって、やれぼろまくいくのではないかと。前にも言ったが、昔は町の花のカンナを植えてみたり、お花畑だった。そういうような歴史があって、今はあんなふうにはぼろぼろである。せつかくただでもらったのだから、そこに手を入れるような人を探してやったらどうかと。旧園芸試験場第二圃場のことはそういう考えである。町としても皆が見ないから分からないが、こんなことをしてよいのかと。猪通りになってしまっているし、診療所の方から上がってくる道から、あの場所はすぐ上である。少し崖を崩して坂道を作ればそちらから楽に入れる。今、農道も確かに必要だし、この間行ったような場所も広くというかアスファルトにすればよいのだらうけど。そういうことの他に反対側に入ることもできる。

杉崎 今、何をやっているのか。話がずれたが。

委員長 テーマの変更についてである。皆様からそういう意見が多いので。遊休荒廃農地も有効活用ではなく遊休荒廃地もしくは補足的に他の名前を付けるのが分かりやすいかというようなご意見だと思うので。

杉崎 一昨日、変更しようと委員長がやったが、それをメインにして、坂本さんが言ったのを副題みたいなのにしてはいかがか。他に一色などに手を付けないのかと言われたら上にうたっていると逃げれるがそういうのはどうか。

委員長 今、杉崎委員からの意見で遊休荒廃地の有効活用に副題をつけて分かりやす

く表現するのがよいのではないかということだがいかがか。遊休荒廃地の有効活用で副題としてどのような名目がふさわしいか。

杉崎 これだけだと遊休荒廃地の有効活用だけだと分かりにくい。そういう意味でも副題として坂本副委員長が言われたように変えたほうが良い。

渡辺 本当に絞り込むのであれば、旧園芸試験場第二圃場の有効活用と、それだと本当に明確になるかなという気はする。そこまで絞り込むとあれかな。

野地 渡辺委員の意見も分かるが私は反対である。今回そもそものテーマを振り返ると町全体のことである。やっていくうちに、まずここから手を付けよう、ここを調べようというのが今すでにある。もともと我々がやろうとしているのは町全体のそういう場所、一色もどこも含めてやっていく。その中の中里地区なら、それは進めていった中でここに絞ると、時系列というかそういうものを作っておきたい。第二弾がまたここになるとよいが、結局町全体の中でこういう状況をなんとかしようとしているという意思表示は当初の通りに貫きたいという感じがする。もしここで言葉が決まらないのであれば遊休荒廃地の有効活用で、説明の中で付け加えるというのでもできる。6月以降の調査の中で詰めていくということもできなくはない。もし、決めなければいけないのであれば慌てて何かをするのであれば、これからの調査研究の中で町民に分かりやすいような表現にしていくことを気にしてもよいのかと。自分で提案してて申し訳ないが。

委員長 議会の報告の中で委員会の取り組みとして今回は遊休荒廃地の有効活用で名前を変更するということとともに、これからの継続調査事項については中里の峰山、旧園芸試験場第二圃場周辺を重点的に調査していくというような。まずはそこから調査を進めていくということで委員会の総意を発表するというところでよろしいか。

（「異議なし」との声あり）

総務建設経済常任委員会の休会中の継続審査事項の名称は遊休荒廃地の有効活用で名前を変更させていただき、我々の取り組みとして、どのような方向性で活動していくのかということについては、今回は中里の峰山周辺、旧園芸試験場第二圃場中心とした部分を今後調査していくというようなことで今回報告をさせていただくということで閉めたいと思う。

（「異議なし」との声あり）

その形で6月議会で報告させていただく。他に意見が無ければ総務建設経済常任委員会を閉会する。

閉会 10時24分